

1学年だより

夢の宅配便

1年学年主任

水野 嘉代治

相手を認める……心の優しさ

人には、好き嫌いがあって、気が合う人と気が合わない人がいます。学校生活では様々な場面で、集団で活動することがあります。給食準備、清掃活動、部活動など協力して活動するときに、「あの人は一緒に活動するは嫌だ。」とか、「あの人と一緒にになりたい。」などの自分の好き嫌いを前面に出してしまうと集団の活動はスムーズに動かなくなってしまう。また、言葉や態度に出さなくても、表情に出す人もいます。その表情に気が付いた人は、嫌な気持ちになりますし、その人に気を遣うことになります。

だれもが、自分の中に好き嫌いの気持ちはあると思います。しかし、仕事をしたり活動するときは、その気持ちを抑えて協力していくことが大切です。それができることが大人だと思います。小学校の低学年では、活動は好きなもの同士で行うことがほとんどです。担任の先生が、トラブルが起きないように好きなもの同士、仲良し組で活動させます。小学校の高学年になっていくと、だんだん仲良し組でない人との活動も増えてきます。いろいろな個性が集まった集団のほうがより質の高い活動ができるものです。好き嫌いでなく、冷静に相手の優れているところを認めあって仕事をすることが求められてきます。

年末に、「先生、私はどうしても〇〇さんが苦手で、好きになれません。」と言っていた生徒がいました。その生徒と話した結果、いろいろな場面で相手を認めて頑張ると約束してくれました。2022年がスタートして、その生徒を見ると、授業でのグループ学習など机をつけて、一緒に一生懸命に学習していました。新しい年になって、その生徒の心が大きく変化しているのが手に取るようにわかりました。素晴らしいと感激しました。私はその生徒に心で拍手しました。そして、その生徒の温かい心がとてもすてきだなと思いました。